



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 2 年 4 月 実績

April 2020



令和 2 年 6 月

June 2020

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

目 次

2020（令和2）年4月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。
https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

2020（令和2）年4月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、3月3.0%増の後、4月は8.3%減となった。

需要者別にみると、民需は、3月3.9%減の後、4月は2.6%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、3月0.4%減の後、4月は12.0%減となった。内訳をみると製造業が2.6%減、非製造業（船舶・電力を除く）が20.2%減であった。

一方、官公需は、3月17.1%増の後、4月は地方公務、国家公務等のすべてで減少したことから、7.2%減となった。

また、外需は、3月1.3%減の後、4月は電子・通信機械、工作機械等で増加したものの、原動機、航空機等で減少したことから、21.6%減となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、3月3.3%減の後、4月は産業機械、鉄道車両で増加したものの、道路車両、電子・通信機械等で減少したことから、8.9%減となった。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、3月8.2%減の後、4月は2.6%減となった。

4月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、化学工業（37.7%増）、鉄鋼業（21.6%増）等の6業種で、繊維工業（48.5%減）、非鉄金属（46.2%減）等の11業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、3月11.8%増の後、4月は4.3%増となった。

4月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、電力業（115.4%増）、情報サービス業（17.0%増）等の7業種で、運輸業・郵便業（61.0%減）、通信業（36.9%減）等の5業種は減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

4月の販売額は2兆753億円（前月比6.5%減）で、前3か月平均販売額は2兆1,896億円（同5.7%減）となり、受注残高は28兆1,934億円（同0.1%減）となった。この結果、手持月数は12.9か月となり、前月差で0.7か月増加した。

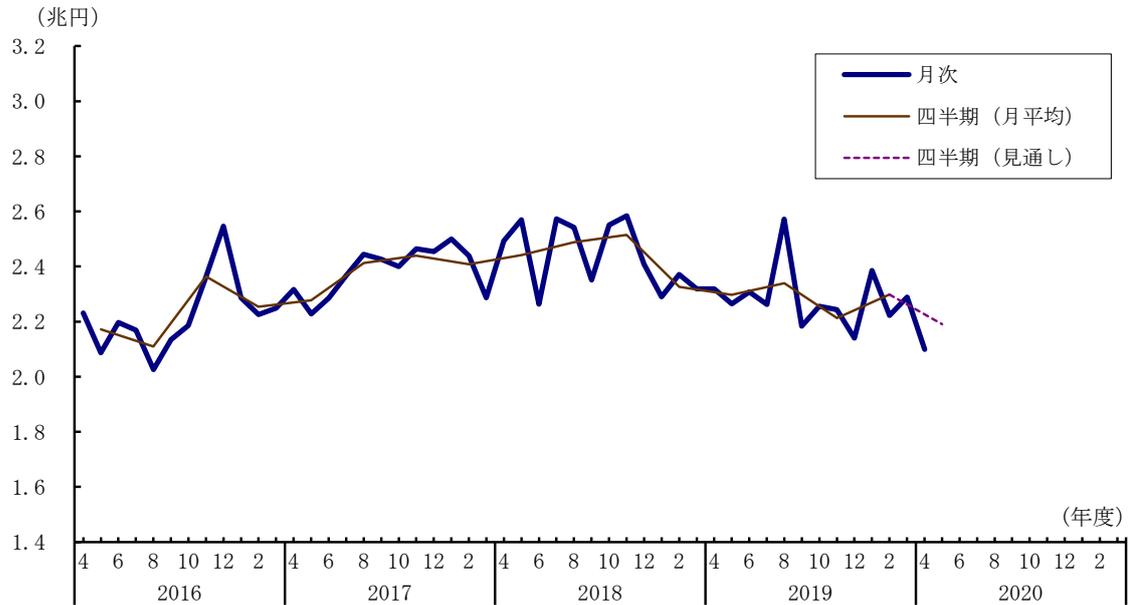
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

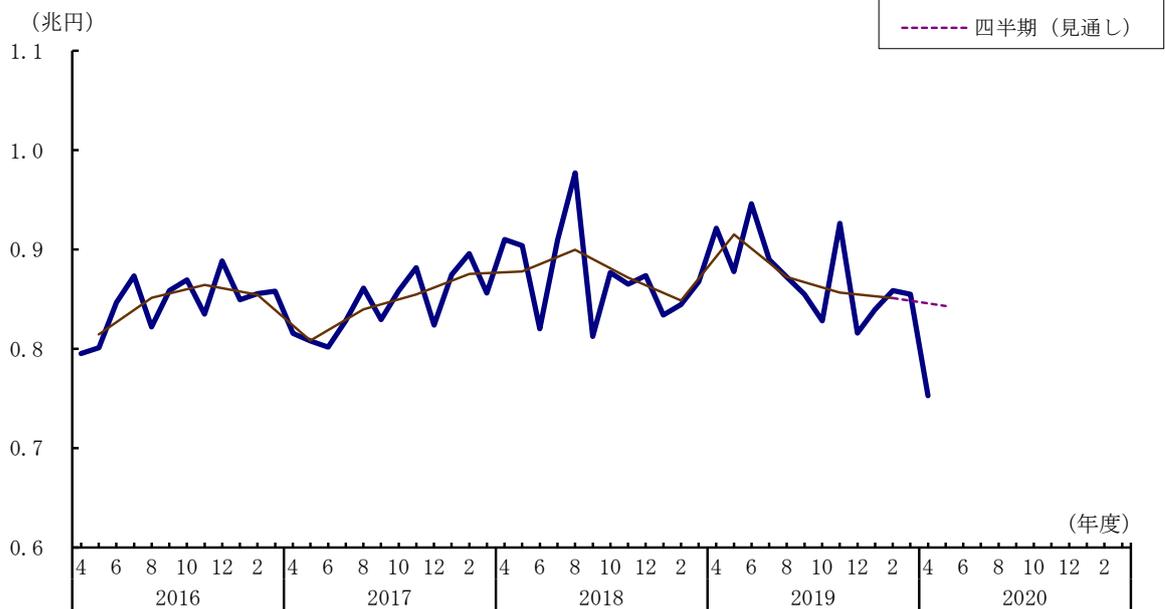
期・月 需要者	2019年 (平成31年) 4~6月	2019年 (令和元年) 7~9月	10~12月	2020年 (令和2年) 1~3月	2020年 (令和2年) 1月	2月	3月	4月
受注総額	68,912 (-1.3) [-5.5]	70,174 (1.8) [-5.1]	66,390 (-5.4) [-11.9]	68,963 (3.9) [-0.7]	23,855 (11.5) [3.8]	22,218 (-6.9) [-7.7]	22,890 (3.0) [0.9]	20,988 (-8.3) [-10.2]
民需	32,825 (6.3) [1.8]	32,871 (0.1) [0.9]	31,447 (-4.3) [3.0]	29,847 (-5.1) [-3.2]	9,874 (-1.6) [-4.9]	10,183 (3.1) [-7.1]	9,791 (-3.9) [-0.4]	10,041 (2.6) [-5.6]
〃 (船舶・電力を除く)	27,447 (7.8) [4.1]	26,164 (-4.7) [-2.7]	25,698 (-1.8) [-1.5]	25,526 (-0.7) [-1.0]	8,394 (2.9) [-0.3]	8,585 (2.3) [-2.4]	8,547 (-0.4) [-0.7]	7,526 (-12.0) [-17.7]
製造業	11,497 (2.3) [-8.5]	11,097 (-3.5) [-10.2]	10,783 (-2.8) [-10.2]	10,972 (1.8) [-3.4]	3,803 (4.6) [0.1]	3,738 (-1.7) [-7.0]	3,430 (-8.2) [-3.2]	3,342 (-2.6) [-15.0]
非製造業 (船舶・電力を除く)	16,303 (14.3) [15.9]	14,793 (-9.3) [3.6]	15,324 (3.6) [6.2]	14,535 (-5.1) [0.6]	4,607 (-1.7) [-0.6]	4,836 (5.0) [1.1]	5,092 (5.3) [0.9]	4,063 (-20.2) [-19.6]
官公需	8,532 (29.7) [13.6]	8,116 (-4.9) [-8.8]	7,265 (-10.5) [-10.8]	9,115 (25.5) [45.0]	3,927 (87.8) [59.5]	2,390 (-39.1) [-3.6]	2,798 (17.1) [66.5]	2,598 (-7.2) [-5.2]
外需	24,902 (-13.4) [-17.8]	26,339 (5.8) [-10.7]	24,268 (-7.9) [-25.4]	26,371 (8.7) [-8.7]	8,671 (9.1) [3.2]	8,907 (2.7) [-10.2]	8,793 (-1.3) [-14.4]	6,894 (-21.6) [-16.8]
代理店	3,718 (-0.5) [-0.4]	3,569 (-4.0) [-4.9]	3,458 (-3.1) [-11.6]	3,581 (3.6) [-4.1]	1,230 (8.1) [-4.5]	1,196 (-2.7) [-1.7]	1,156 (-3.3) [-5.8]	1,053 (-8.9) [-17.8]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期 (月平均) は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2020年4～6月 (見通し)」の計数は、「見通し調査 (2020年3月末時点)」の季節調整値を3で割った数値。

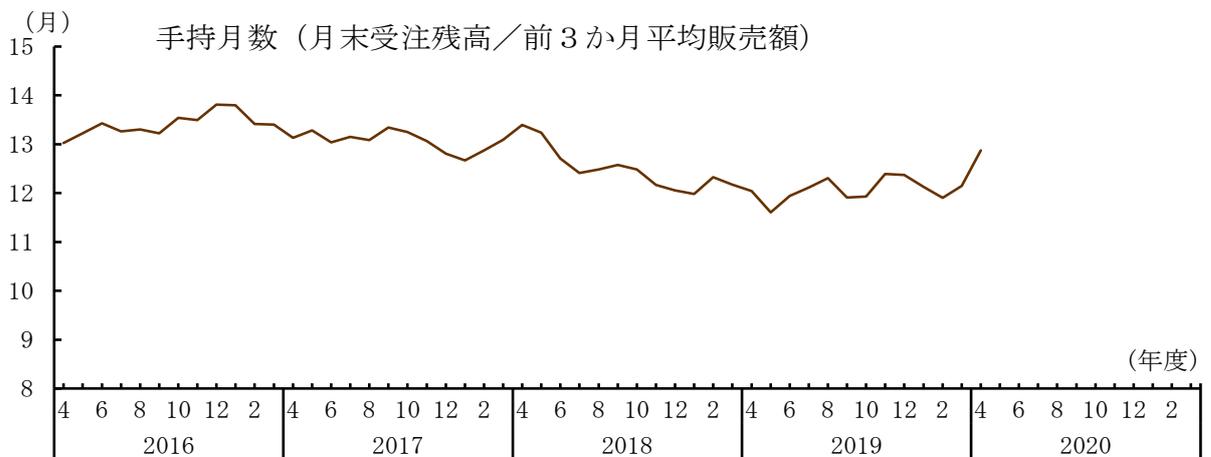
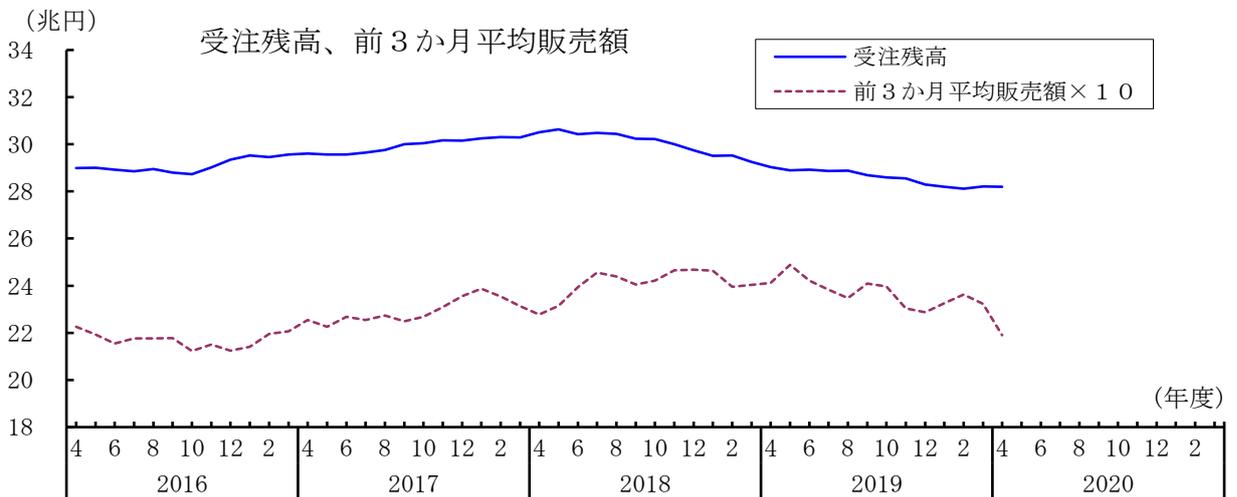
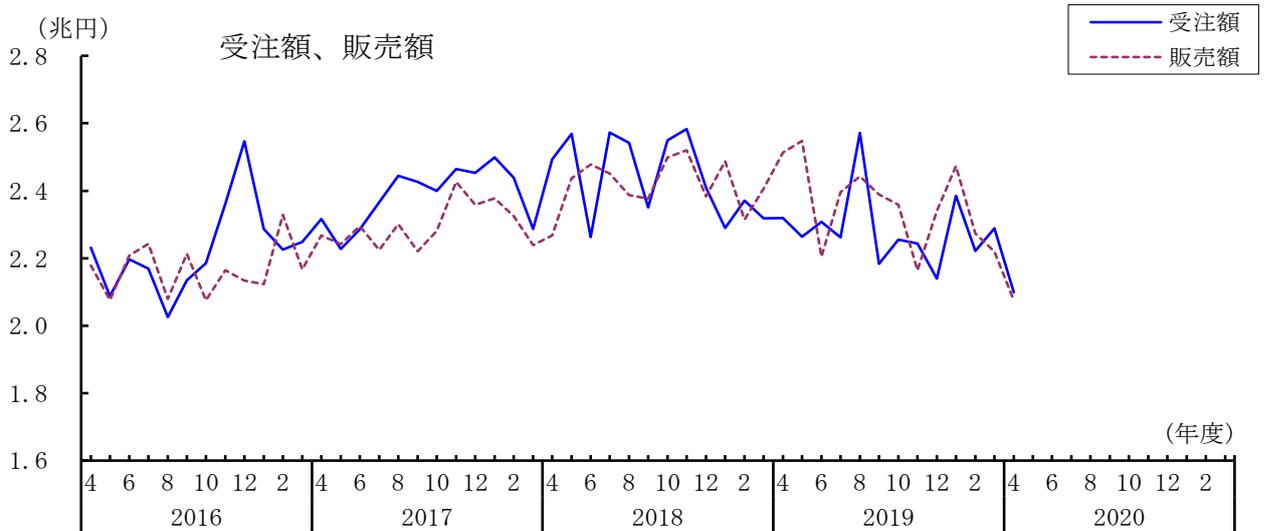
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月	2019年	2019年		2020年	2020年			
		(平成31年) 4～6月	(令和元年) 7～9月	10～12月	(令和2年) 1～3月	(令和2年) 1月	2月	3月	4月
I 製造業計		2.3	-3.5	-2.8	1.8	4.6	-1.7	-8.2	-2.6
1 食品製造業		20.9	8.6	-26.0	19.2	47.1	-14.3	-0.4	-13.0
2 繊維工業		12.9	-5.8	-15.5	-11.8	1.3	-36.3	39.2	-48.5
3 パルプ・紙・紙加工品		-13.8	5.5	-3.9	51.2	58.5	25.0	-45.0	6.7
4 化学工業		-1.8	-15.1	-12.8	15.5	56.2	-44.0	3.9	37.7
5 石油製品・石炭製品		-39.2	-17.1	8.4	8.8	8.1	-5.7	25.0	-20.1
6 窯業・土石製品		10.3	-1.1	13.3	-7.6	15.8	-41.9	-8.9	-10.3
7 鉄鋼業		8.4	5.1	-2.5	-22.0	-3.7	-37.7	43.6	21.6
8 非鉄金属		-13.1	10.3	-27.8	59.2	77.9	-8.1	-5.3	-46.2
9 金属製品		3.6	6.9	-11.1	-14.7	-38.1	41.3	-10.4	-34.3
10 はん用・生産用機械		-5.1	-6.5	-4.8	-0.7	-4.0	2.9	-7.7	-18.3
11 業務用機械		1.6	-2.1	-2.3	0.8	-4.0	0.3	0.5	20.6
12 電気機械		11.7	9.2	7.2	22.1	23.9	-1.1	-24.4	-2.6
13 情報通信機械		15.0	-7.1	-21.6	2.0	-22.3	7.7	30.8	-9.3
14 自動車・同付属品		-7.0	-3.1	0.2	-7.8	8.9	-3.4	-28.4	-0.6
15 造船業		21.0	-16.0	-15.8	-6.8	-16.5	-15.9	77.9	1.7
16 「その他輸送用機械」		6.4	-21.7	40.6	5.8	29.2	-10.9	-15.9	-30.5
17 「その他製造業」		-9.7	3.2	-0.9	-12.6	-14.1	3.9	-0.9	2.3
II 非製造業計		4.2	2.5	-2.0	-9.1	-5.1	-6.8	11.8	4.3
18 農林漁業		0.8	-1.1	-16.7	1.0	-6.2	10.9	-7.1	10.7
19 鉱業・採石業・砂利採取業		-5.7	13.5	-4.1	-0.6	3.1	-4.8	13.2	-8.9
20 建設業		-4.5	23.4	-23.3	3.2	-3.7	13.2	5.3	-11.6
21 電力業		-21.8	58.3	-21.8	-14.4	9.7	-30.8	18.9	115.4
22 運輸業・郵便業		32.9	-18.2	22.6	-14.0	-26.2	-9.4	82.0	-61.0
23 通信業		-0.6	-7.5	-11.6	34.7	38.4	-16.2	25.2	-36.9
24 卸売業・小売業		9.9	6.9	-12.7	10.0	2.8	18.8	-5.7	-17.9
25 金融業・保険業		-6.5	4.4	11.0	-21.5	-13.2	10.4	0.6	2.5
26 不動産業		34.2	-16.1	2.9	-14.6	-12.6	26.7	-30.9	15.2
27 情報サービス業		11.8	3.5	-14.3	-2.9	7.8	-4.5	-15.3	17.0
28 リース業		7.4	-3.1	-0.1	5.4	30.8	-38.4	23.1	10.3
29 「その他非製造業」		8.6	-3.1	-4.3	-5.6	14.1	-9.9	-23.0	14.7

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

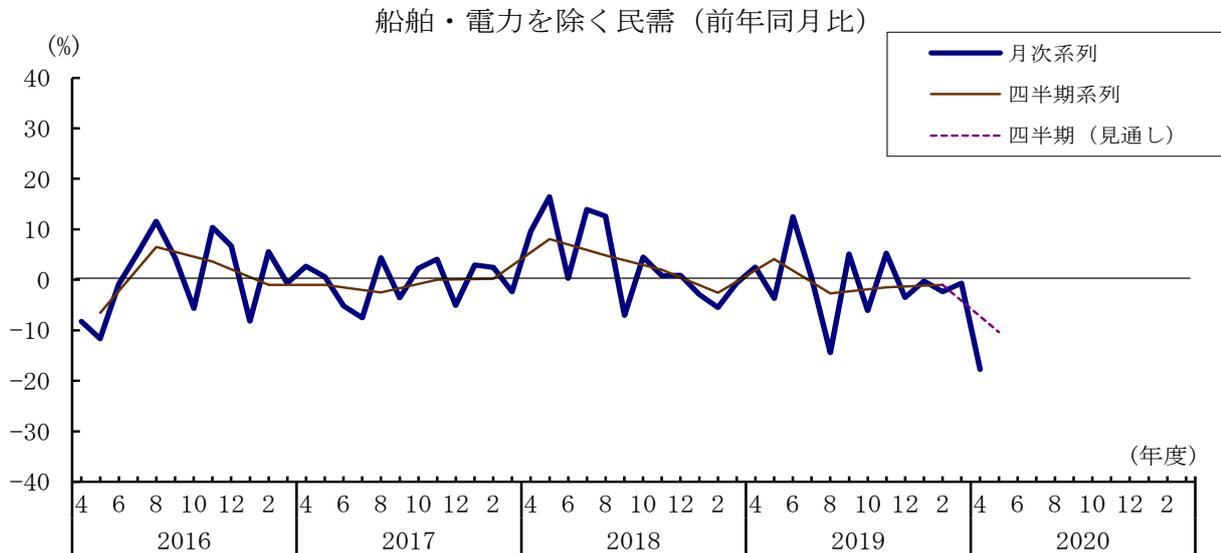
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

4月の受注総額は、1兆9,540億円で前年同月比10.2%減となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2020年4～6月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2020年3月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は9,332億円で前年同月比5.6%減（船舶・電力を除くと同17.7%減）、官公需は2,806億円で同5.2%減、外需は6,397億円で同16.8%減、また、代理店は1,004億円で同17.8%減となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比15.0%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、パルプ・紙・紙加工品（47.0%増）、業務用機械（24.9%増）等の5業種で、金属製品（46.2%減）、はん用・生産用機械（36.1%減）等の11業種は減少となった。石油製品・石炭製品（0.0%）は保合いとなった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比0.5%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、電力業（124.4%増）、リース業（14.8%増）等の3業種で、運輸業・郵便業（50.9%減）、不動産業（33.6%減）等の9業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

4月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、原動機（87.4%増）、電子・通信機械（3.4%増）で増加となった。反面、工作機械（48.4%減）、道路車両（42.0%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比10.2%減となっ

た。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、原動機（142.8%増）で増加となった。反面、船舶（78.7%減）、重電機（50.7%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比5.6%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2019年 (平成31年) 4～6月	2019年 (令和元年) 7～9月	10～12月	2020年 (令和2年) 1～3月	2020年 (令和2年) 1月	2月	3月	4月
民 需 総 額	1.8	0.9	3.0	-3.2	-4.9	-7.1	-0.4	-5.6
原 動 機	-3.8	59.2	49.5	-13.0	-42.2	-10.0	-4.6	142.8
重 電 機	70.6	-2.9	34.1	12.8	21.3	-11.8	21.0	-50.7
電子・通信機械	-3.0	1.6	-3.6	0.8	7.6	3.0	-3.6	-6.9
産 業 機 械	-10.2	-12.9	-14.8	-8.5	-16.3	-7.0	-5.0	-16.2
工 作 機 械	-34.1	-36.2	-39.0	-29.4	-34.3	-13.9	-37.8	-49.1
鉄 道 車 両	153.7	-3.3	240.2	42.0	73.0	21.1	40.7	-33.1
道 路 車 両	8.6	21.7	-16.3	-2.9	-14.2	-21.8	21.5	-35.8
航 空 機	-11.6	-39.0	-30.9	-14.5	41.8	-25.1	-26.7	-49.0
船 舶	-25.0	96.1	-18.9	-13.4	192.5	-63.2	14.7	-78.7

(2) 販売額

4月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、電子・通信機械（31.8%増）、船舶（21.6%増）等で増加となった。反面、航空機（63.2%減）、産業機械（40.1%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比17.4%減となった。

(3) 受注残高

4月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、鉄道車両（6.7%増）、原動機（5.3%増）等で増加となった。反面、工作機械（35.4%減）、航空機（24.0%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.9%減となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

4月の受注額は、162億円で前年同月比0.8%増、販売額は、183億円で同18.3%減、受注残高は、4,309億円で同3.7%増となった。

(2) 軸受

4月の受注額は、397億円で前年同月比27.8%減、販売額は、451億円で同20.9%減、受注残高は、880億円で同10.1%減となった。

(3) 電線・ケーブル

4月の受注額は、795億円で前年同月比24.1%減、販売額は、828億円で同20.4%減、受注残高は、1,266億円で同14.7%減となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表
目 次

[グラフ]

第1図 主要需要者別受注額	-----	9
第2図 主要業種別受注額	-----	12
第3図 主要機種別受注額	-----	17

[計 数 表]

需要者別受注額（季節調整系列）	-----	18
機種別受注残高手持月数（ 〃 ）	-----	23
需要者別受注額（原系列）	-----	24
機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
機械受注統計調査結果表（2020年4月実績）	-----	41

(別紙)

需要者（業種）分類の表章変更	-----	45
----------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----